

第 34 回（平成 30 年度）
公益財団法人 村田学術振興財団
研究助成等募集要項

平成 30 年 3 月

1. 助成の目的

エレクトロニクスを中心とする自然科学の研究、及び国際化にともなう法律、経済、社会、文化等の諸問題に関する人文・社会科学の研究に対する助成等を通じて、わが国の学術及び文化の向上発展に寄与することを目的とする。（定款 第 3 条）

2. 助成対象分野

自然科学	エレクトロニクスを中心とする自然科学の研究
人文・社会科学	国際化にともなう法律、社会、文化等の諸問題に関する研究

3. 助成種類別応募要件

【研究助成】

助成対象者：有意義な研究、特に若手研究者で萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究に関する研究者、又は研究グループ。日本国内に在住する外国人、海外在住の日本人も応募可能です。

助成金額：自然科学については 1 件あたり 1,000 千円から 3,000 千円程度
人文・社会科学については 1 件あたり 500 千円から 2,000 千円程度

助成期間：原則 1 年とします。研究内容によっては次年度以降の継続を認めます。

助成金使途：申請書記載の使途に基づいて使用いただきますが、研究目的達成の為に多少変更しても差し支えありません。また、所属機関の間接経費（オーバーヘッド）は極力免除して頂くよう申請書を発行しております。

報告義務：研究終了後 3 ヶ月以内に、研究成果報告及び会計報告を別途定める様式によって報告していただきます。また成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添え下さい。

推薦(承認)：学協会の代表者・学部長・科長・研究所長・教授、又は直属の上司のご推薦が必要となります。選考結果は推薦者宛にご連絡致しますので、ご連絡可能な方をご指名下さい。

重複応募：研究助成と海外派遣援助の重複応募はできません。重複応募が判明した段階で不採択とします。

過年度採択者：3 年以内に当財団の研究助成を受けられた方（平成 27 年度以降の採択者）の応募はご遠慮下さい。4 年以前に当財団の研究助成を受けられた方で、新規テーマであれば応募可能です。

【研究会（学会）助成】

助成対象：平成30年6月～平成31年6月の間に日本国内で開催される研究会・学会。

助成金額：自然科学については1件あたり300千円から1,000千円程度
人文・社会科学については1件あたり500千円程度

助成金使途：申請書記載の使途に基づいて使用いただきますが、研究目的達成の為に多少変更しても差し支えありません。

報告義務：研究会・学会終了後3ヶ月以内に、研究成果報告及び会計報告を別途定める様式によって報告していただきます。また成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添え下さい。

推薦(承認)：学協会の代表者・学部長・科長・研究所長・教授、又は直属の上司のご推薦が必要となります。選考結果は推薦者宛にご連絡致しますので、ご連絡可能な方をご指名下さい。

【海外派遣援助】

助成対象者：①日本国内に在住する方（国籍不問）で、海外での研究活動を行うにあたり、受入機関の承諾を得ている方、又は申請中であるが受入承諾が得られる見込のある方。

②日本国内に在住する方（国籍不問）で、海外で開催される国際会議、シンポジウム等で研究発表するにあたり、受入承諾を得ている方、又は申請中であるが受入承諾が得られる見込のある方。

助成金額：①海外での研究活動については1件あたり200千円から500千円程度
②国際会議参加費用については1件あたり200千円から300千円程度

※②については渡航先別に上限を設けていますので、詳細は「4.助成金額および採択件数」をご参照ください。

出発期間：平成30年6月～平成31年6月の間に出発予定の方。

派遣期間：通例3ヶ月以内とします。

助成金使途：渡航費及び滞在費等の援助を行います。申請書記載の使途に基づいて使用いただきますが、研究目的達成の為に多少変更しても差し支えありません。

報告義務：帰国後3ヶ月以内に、活動の経過、結果及び会計について別途定める様式によって報告していただきます。また成果を刊行する場合は、本財団の助成による旨を書き添え下さい。

推薦(承認)：学協会の代表者・学部長・科長・研究所長・教授、又は直属の上司のご推薦が必要となります。選考結果は推薦者宛にご連絡致しますので、ご連絡可能な方をご指名下さい。

申請者が学生の場合は、指導教官の推薦理由書の提出が必要です。
 (研究助成、研究会(学会)助成では、申請者が学生であっても、指導教官の推薦理由書は、不要です。)

重複応募: 研究助成と海外派遣援助の重複応募はできません。重複応募が判明した段階で不採択とします。

過年度採択者: 3年以内に当財団の海外派遣援助を受けられた方(平成27年度以降の採択者)の応募はご遠慮下さい。4年以前に当財団の海外派遣援助を受けられた方で、新規テーマであれば応募可能です。

4. 助成金額および採択件数

助成総数 276 件程度、助成総額 331,000 千円を予定していますが、選考結果により変更する場合があります。

単位：千円

助成種類	分野	件数	助成総額	1件あたりの助成金額	
研究助成	自然	100	230,000	1,000－3,000	
	人文	30	50,000	500－2,000	
研究会(学会)助成	自然	30	21,000	300－1,000	
	人文	6	3,000	500	
海外派遣援助	自然	80	19,000	海外での研究活動	200－500
				国際会議参加(※)	200－300
	人文	30	8,000	海外での研究活動	200－500
				国際会議参加(※)	200－300

※海外派遣援助における「国際会議参加」への渡航先別 助成上限額

渡航先：欧州・中東・アフリカ 上限 300 千円

渡航先：アジア・オーストラリア・南北アメリカ 上限 200 千円

5. 応募方法

①財団ホームページ(URLは、末尾に記載)より電子申請システムに入り、マイページを取得して下さい。

②マイページより申請書類を作成し、アップロードして提出して下さい。

※提出後は入力内容の変更ができませんのでご注意ください。

③提出後、電子申請システムで受理された書類一式を印刷(A4片面・モノクロ印刷)し、申請者および推薦者の記名欄に押印(またはサイン)の上、正本を作成してください。さらに副本(正本のコピー)を1部作成の上、クリップ留め(ホッチキス不可)で正副各1部を郵送にて当財団宛にご提出下さい。

④当財団で申込書類一式を受理しましたら、マイページを取得されたメールアドレスに受理メールを送付します。本メールのご通知をもって正式受領とします。

6. 応募期間

電子申請：平成30年3月5日(月)～平成30年3月31日(土)

書類提出：平成30年3月5日(月)～平成30年4月5日(木) 必着

7. 選考方法

選考委員会で選考し、理事会で承認後、評議員会で決定します。

(五十音順・敬称略) 平成30年3月2日 現在

人文系	柴田 章久	京都大学 経済研究所 教授
	泉水 文雄	神戸大学 大学院法学研究科 教授
	宮本 隆二	(株)村田製作所 上席執行役員 企画管理本部 副本部長
自然系	荒川 泰彦	東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 機構長
	河合 壮	奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授
	辰巳砂 昌弘	大阪府立大学 大学院工学研究科 教授
	田中 勝久	京都大学 大学院工学研究科 教授
	長 康雄	東北大学 電気通信研究所 教授
	寺崎 一郎	名古屋大学 大学院理学研究科 教授
	舟窪 浩	東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授
	町田 憲一	大阪大学 大学院工学研究科 教授
	渡部 行男	九州大学 理学研究院 教授
	渡辺 好章	同志社大学 生命医科学部医情報学科 教授
	安藤 陽	(株)村田製作所 技術・事業開発本部 新規技術センター シニアプリンシパルリサーチャー
	安藤 正道	(株)村田製作所 事業インキュベーションセンター 新商品事業 化推進部 部長
	久保寺 紀之	(株)村田製作所 執行役員 技術・事業開発本部 マテリアル技術セ ンター センター長
	鴻池 健弘	(株)村田製作所 執行役員 技術・事業開発本部 新規技術センター センター長
	高田 隆裕	(株)村田製作所 技術・事業開発本部 新規技術センター 革新技術開発部 部長

8. 結果通知と採択後の予定

結果通知・発表：平成30年6月4日（月）午後

当財団ホームページに採択者名を掲載します。

推薦者宛に選考結果通知を郵送します。

助成金支払手続：平成30年6月中旬より

助成者の所属機関の手続きに従い、順次お支払致します。

研究助成採択者贈呈式：平成30年7月20日（金）15時～19時

於：京都市内ホテル

「研究助成」採択者は全員のご出席をお願いします。

【申込書類提出先・お問い合わせ先】

公益財団法人 村田学術振興財団 事務局

〒617-8555 京都府長岡京市東神足一丁目10番1号

URL : <http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

TEL : 075-953-2580 FAX : 075-955-7359 E-mail : zaidan@murata.com